

上部消化管内視鏡検査の同意書

【方法・手順】

経鼻 検査中は会話可能です。モニターを観ながら検査を受けたい方におすすめです。

- ①胃の中の泡をなくす消泡剤を飲み、鼻腔を拡げるために左右の鼻に局所血管収縮剤をスプレーをします。
- ②通りのいい鼻腔を決めて局所麻酔液で麻酔をし、その後、確認のために細く短いチューブを通します。
- ③ゆっくり鼻腔を通し検査スタートです。

経口 検査に慣れている方におすすめです。

- ①胃の中の泡をなくす消泡剤を飲み、のどの麻酔します。
- ②検査スタートです。

鎮静経口 初めて受ける方、不安のある方、以前つらい思いをした方におすすめです。寝ている間に検査が終わりますが、内視鏡室で30分くらい休んでいただき、結果説明後に帰宅となります。帰宅後もまだふらつき・眠気が残ることがありますので、乗り物の運転は避けて自宅安静を守って過ごして下さい。

- ①鎮静剤を使用するため点滴を入れ、胃の中の泡などをなくすために消泡剤を飲み、のどの麻酔します。
- ②鎮静剤を注射して検査スタートです。

鎮静経鼻 通常は経鼻内視鏡では鎮静を使用しないのが普通ですが、どうしても鎮静経口で不安のある方におすすめです。寝ている間に検査が終わりますが、内視鏡室で30分くらい休んでいただき、結果説明後に帰宅となります。帰宅後もまだふらつき・眠気が残ることがありますので、乗り物の運転は避けて自宅安静を守って過ごして下さい。

- ①鎮静剤を使用するため点滴を入れます。
- ②胃の中の泡をなくす消泡剤を飲み、鼻腔を拡げるために左右の鼻に局所血管収縮剤をスプレーをします。
- ③鎮静剤を注射して検査スタートです。

【注意事項】

- ・鎮静剤を希望の方は当日の乗り物の運転は絶対に禁止です。
- ・降圧剤、抗凝固剤は内服してください。糖尿病薬は飲まないでください。
- ・食事については以下のようにしてください。

	午前AMの検査の方	午後PMの検査の方
前日の食事	夜9時以降はなし	夜9時以降はなし
検査日の朝食	なし（水のみOKです）	通常の1/2程度としてください
検査日の昼食	—	なし（水のみOKです）

【偶発症】（日本消化器内視鏡学会より報告）

前処置では0.0028%（うち死亡例は0.00005%）、観察のみの検査では0.014%（うち死亡例は0.00013%）と報告されてます。前処置の偶発症で最も多かったのは鎮静関連で内容は呼吸抑制でした。検査中の偶発症で最も多かったのは出血で、経鼻内視鏡では鼻出血（0.01%）でした。このような偶発症を避けるために細心の注意を払って施行しますが、万一偶発症が生じた場合は最善の対処をさせていただきます。ただし、やむを得ず入院や手術などの処置が必要になった場合の医療費は患者様のご負担になりますのでご了承下さい。

説明年月日 年 月 日
説明医師 青木 圭

記入年月日 年 月 日
本人 (自筆)

